



県北地区4町村の大正琴教室の皆さんによる合同演奏

心に響く大正琴の音色 県北の愛好者が発表会

新響流大正琴教室の岩手県北地区合同発表会は9月11日、ふれあい宿舎グリーンテージで開かれ、約100人が大正琴の音色を楽しみました。

各教室で学ぶ18人が北上夜曲や津軽平野など9曲を合同演奏し、哀愁を感じさせる澄んだ音色が会場に響きわたりました。2部は、友情出演の葛巻コーラアローのコーラス。3部は、講師陣のダイナミックな演奏で観客を魅了しました。

葛巻教室は6人が参加。同教室の長岡ハルさん（75歳・城内小路）は「なかなか上達しませんが、琴に向かえば心も和みます。指も頭も使うので老化防止になりますよ。仲間をもっと増やしたいですね」と話していました。

郷土出身の先輩に学ぶ 中高生が共に総合学習

葛巻高校（伊藤正博校長、生徒159人）は9月13日、町出身の先輩に学ぶ講演会を開き、講師として同校が全日制になってからの第1回卒業生、落宰房夫さん（53歳・小屋瀬出身）を迎えました。

講演会は、これからの進路目標に役立てようと、総合学習の「ふるさとに学ぶ」活動の一環として計画されたものです。

落宰さんは、都内で教育関係図書など各種印刷物の企画・制作を行う印刷会社に勤務されるかたわら、平成3年の結成以来、葛巻ふるさと会の幹事も務められています。ご自身の仕事や経験談を交え「多くの人との巡り合い、関わりの中で人格は磨かれていきます。学校生活で自信の持てるものをつくり、それを糧に頑張ってください」と後輩たちにエールを送りました。



「ふるさと葛巻の後輩たちへ」と題した講演会は、町内中学校の3年生も参加。円内は、落宰房夫さん

ソバを刈り、収穫の喜び くずまき高原満喫ツアー



自らが種をまいたソバを刈り取り、ソバシマを立てる参加者

くずまき高原満喫ツアー「あなたのそば」作り体験の参加者は9月18日、ソバの刈り取りに挑戦しました。昼食も惜しんで作業に精をだし、農業の大変さを実感しながらも実りの秋を喜んでいました。

見て味わって、平庭高原 エコパーク交流フェスタ



地元の農林水産物や郷土食などがずらりと並んだ「大平庭市」

エコパーク交流フェスタは9月18日と19日、平庭高原駐車場で開かれました。同地域の素晴らしさを実感してもらおうと地元食材の特売市や郷土食コーナーなどが設置され、訪れた人は秋の味覚とイベントを楽しみました。